

平成 26 年度
生物多様性に関する企業意識アンケート
報告書

(環境局 環境都市推進部 環境共生推進担当課 実施)

平成 27 年 3 月
札幌市環境局

1 実施概要

(1) 調査目的

生物多様性保全の取組を推進するための基本指針である「生物多様性さっぽろビジョン」に基づく施策をより効果的に推進するため、事業者の生物多様性に係る意識やニーズを的確に把握する。

(2) 調査期間

平成 26 年 10 月 15 日（水）～11 月 28 日（金）

(3) 調査方法

ホームページ上に回答用紙を掲載し、各企業へ周知

(4) 調査対象者

全事業者

(5) 調査内容

- ア 生物多様性と企業活動のあり方に関する意識
- イ 生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合
- ウ 生物多様性保全の取組の内容
- エ 生物多様性保全と費用の関係
- オ これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組
- カ 生物多様性保全の取組に必要な支援

(6) 回収数

57 件（うち有効回答数 56 件）

2 アンケート結果

次ページ以降のとおり

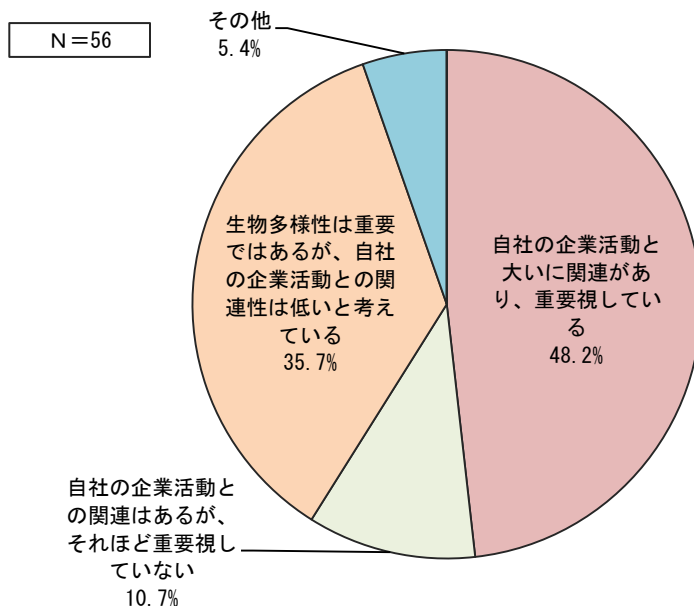
【該当ページ】

- ・生物多様性と企業活動のあり方に関する意識・・・・・・・・・・ P 3
- ・生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合・・・・・・・・ P 4
- ・生物多様性保全の取組の内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- ・生物多様性保全と費用の関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7
- ・これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組・・・・ P 9
- ・生物多様性保全の取組に必要な支援・・・・・・・・・・・・・・・・ P10

生物多様性と企業活動のあり方に関する意識

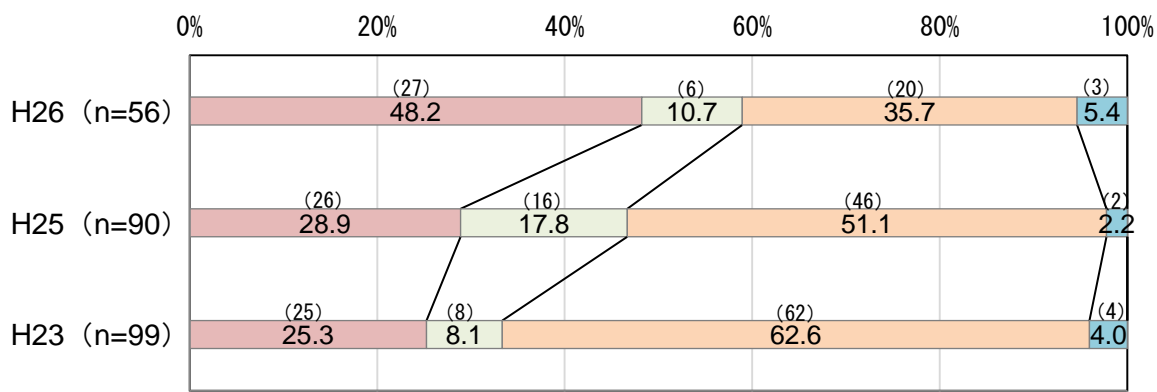
【問1】 貴組織では、生物多様性の保全への取組と企業活動のあり方についてどう思われますか。1つ選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組と企業活動のあり方について、「自社の企業活動と大いに関連があり、重要視している」は 48.2%



○過去のアンケート結果(平成 23、25 年度)との比較

「自社の企業活動と大いに関連があり、重要視している」企業の割合は増加傾向にある。

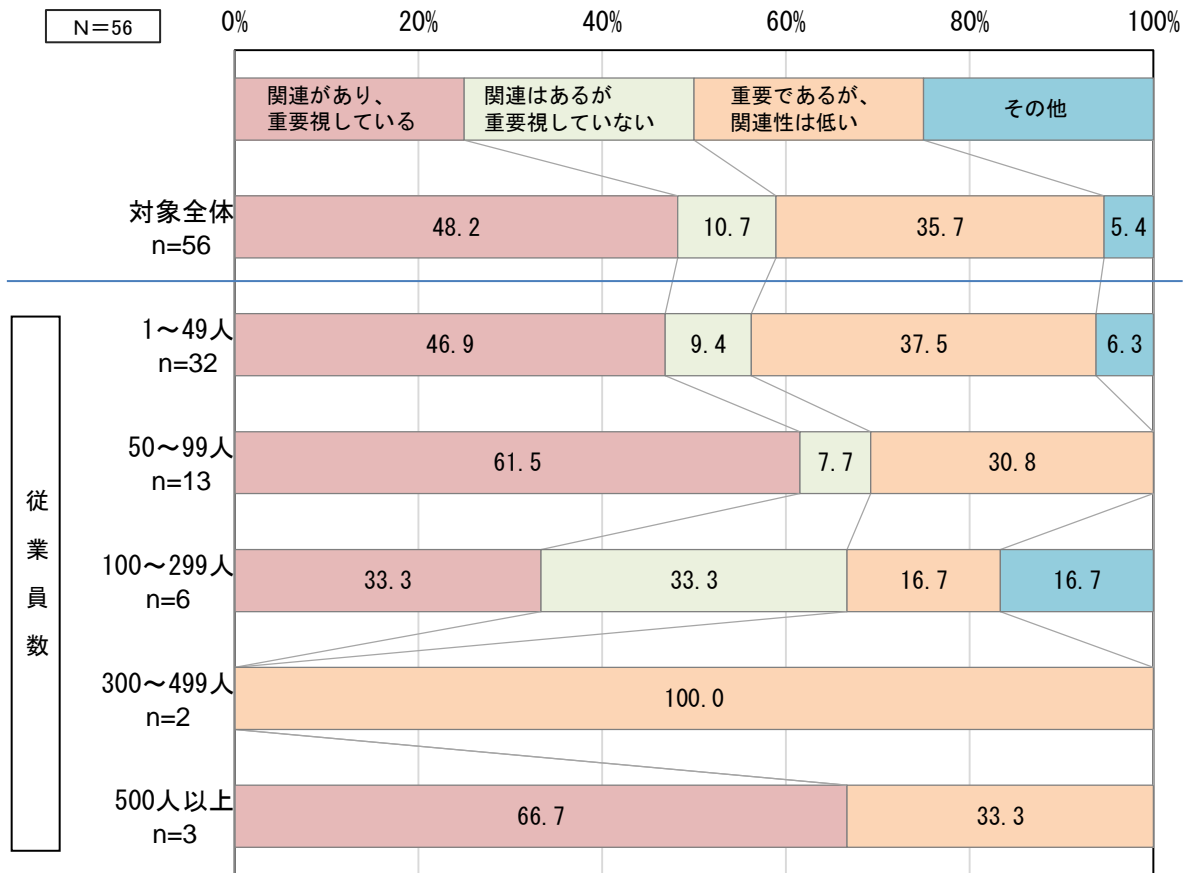


※ () 内の数字は回答企業数

- 自社の企業活動と大いに関連があり、重要視している
- 自社の企業活動との関連はあるが、それほど重要視していない
- 生物多様性は重要ではあるが、自社の企業活動との関連性は低いと考えている
- その他
- 無回答者数

○従業員数別の結果

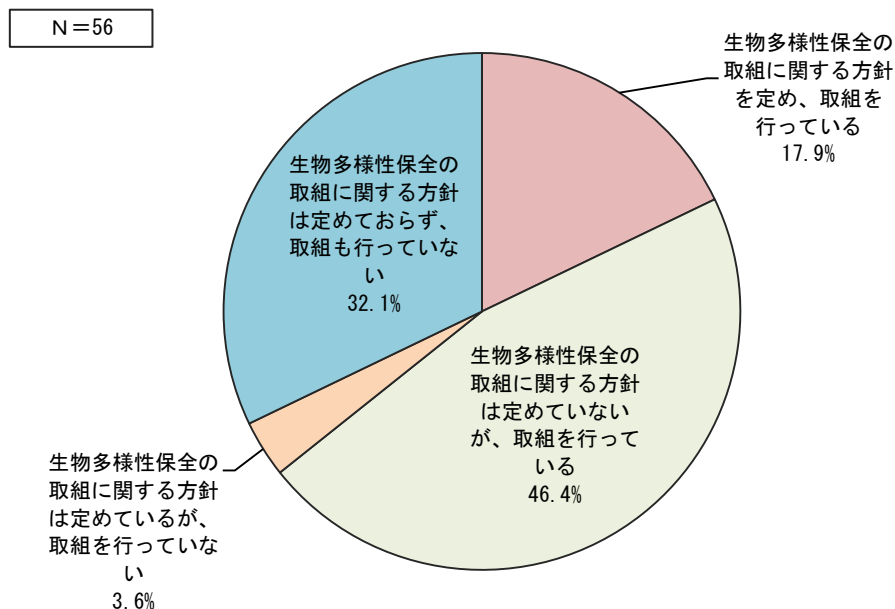
従業員数 500 人以上の企業では「自社の企業活動と大いに関連があり、重要視している」が 66.7%であり、対象全体が 48.2%であることと比較して高い。



生物多様性保全の取組を行っている事業者の割合

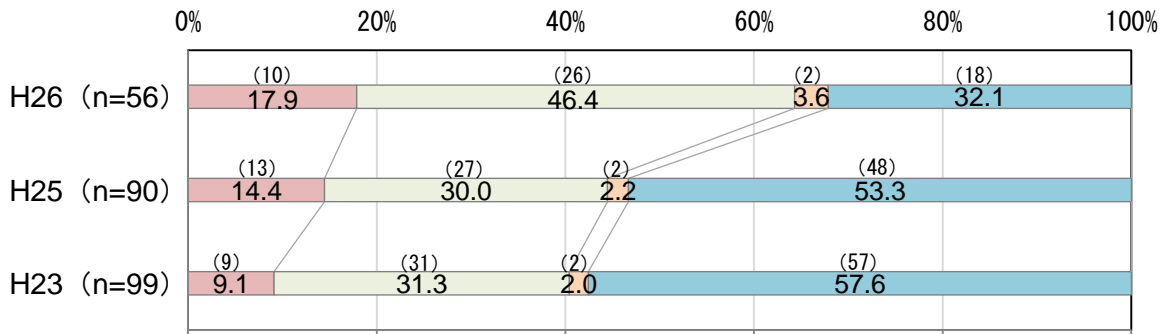
【問 2-1】 貴組織では、環境に対する経営方針あるいは事業活動の中で、生物多様性の保全への取組について、どのように位置付け、取り組んでいますか。1つ選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組について、「方針を定め取組を行っている」+「方針は定めていないが、取組を行っている」は 64.3%



○過去のアンケート結果(平成 23、25 年度)との比較

取組を行っている企業の割合は平成 23 年度から増加傾向にある。

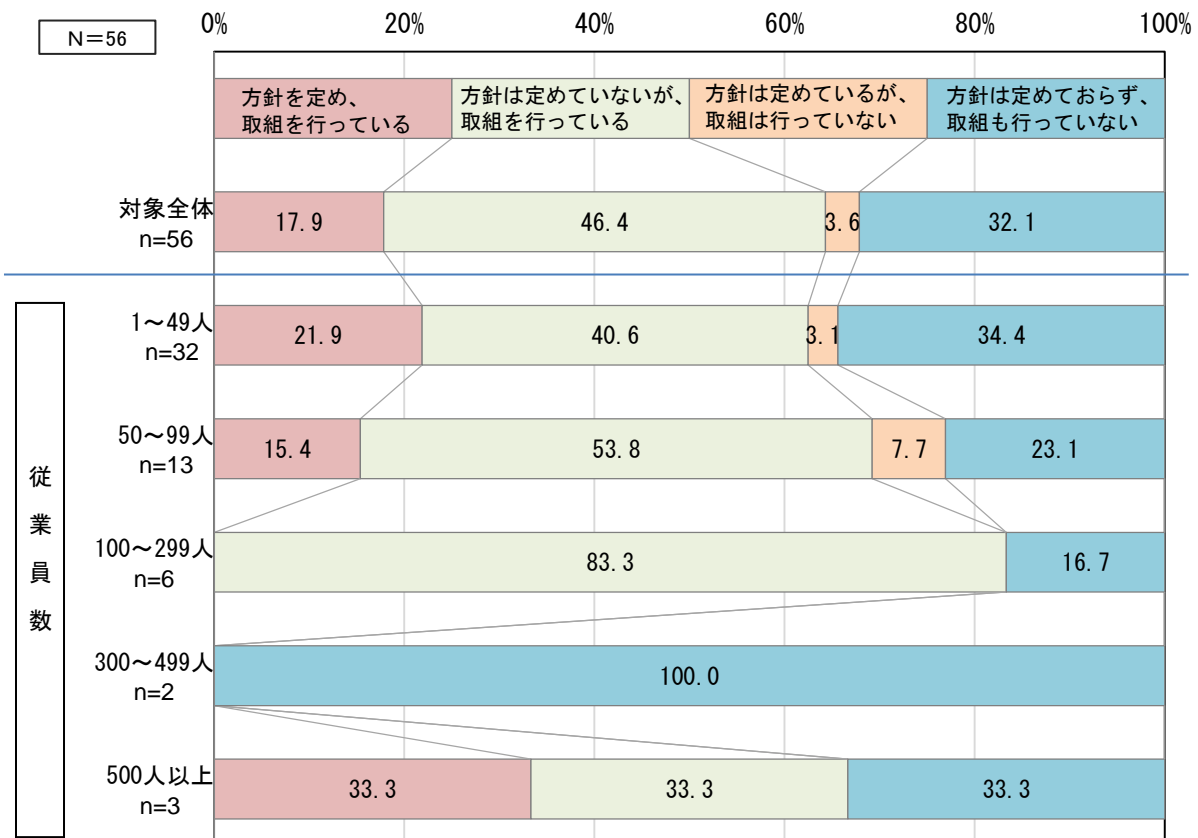


※ () 内の数字は回答企業数

- 生物多様性保全の取組に関する方針を定め、取組を行っている
- 生物多様性保全の取組に関する方針は定めていないが、取組を行っている
- 生物多様性保全の取組に関する方針は定めているが、取組を行っていない
- 生物多様性保全の取組に関する方針は定めておらず、取組も行っていない
- 無回答者数

○従業員数別の結果

従業員数 300～499 人以外の企業では、取組を行っている割合がいずれも 6 割以上であった。



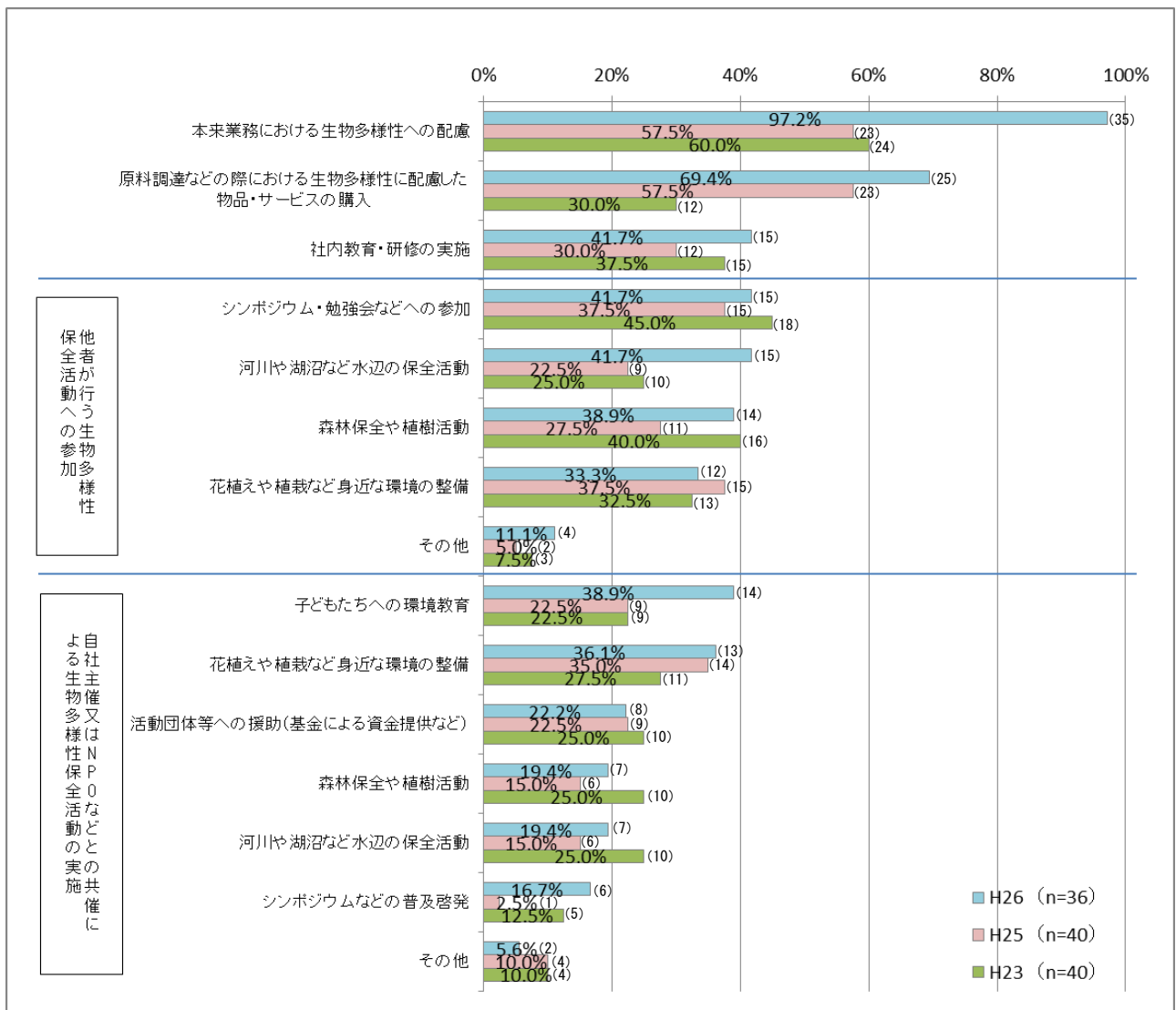
生物多様性保全の取組の内容

【問2-2】 問2-1で①(方針を定め、取組を行っている)、②(方針は定めていないが、取組を行っている)とお答えになられた方にお伺いします。生物多様性の保全への取組として、貴組織が行っているものをすべて選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組として、「本来業務における生物多様性への配慮」が 97.2%、「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」が 69.4%。

○過去のアンケート結果(平成 23、25 年度)との比較

「本来業務における生物多様性への配慮」が平成 23 年度から 37.2 ポイント、「生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」が 39.4 ポイント上昇しており、日々の企業活動の中で生物多様性保全に配慮する企業が増加していると推察される。



※ () 内の数字は回答企業数

○従業員数別の結果

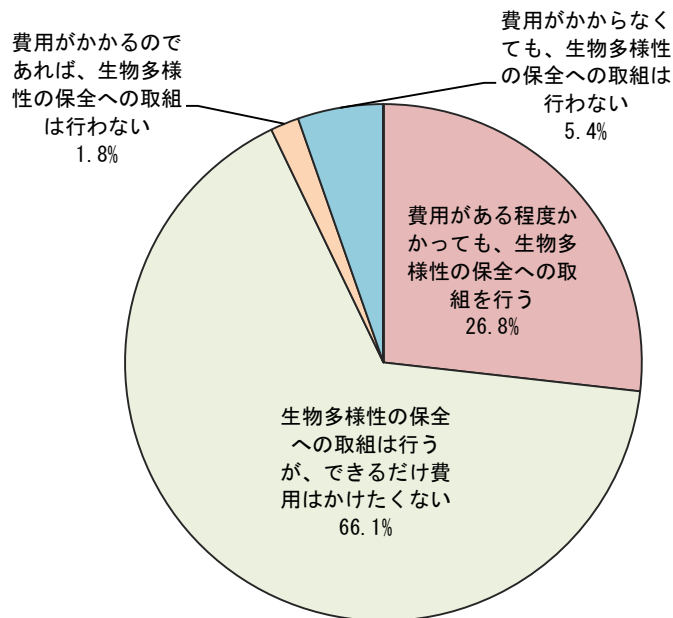
従業員数 500 人未満の企業では「本来業務における生物多様性への配慮」「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」の割合が特に高いが、500 人以上の企業ではいずれの項目においても割合が高い。

	対象数	本来業務における生物多様性への配慮	原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入	社内教育・研修の実施	他者が行う生物多様性保全活動への参加					自社主催又はNPOなどの共催による生物多様性保全活動の実施						無回答者数		
					参加	整備	森林保全や植樹活動	河川や湖沼など水辺の保全活動	その他	整備	活動団体等への援助（基金による資金提供など）	子どもたちへの環境教育	森林保全や植樹活動	河川や湖沼など水辺の保全活動	シンポジウムなどの普及啓発		その他	
札幌市内 対象者全体	36	97.2	69.4	41.7	41.7	33.3	38.9	33.3	11.1	36.1	22.2	38.9	19.4	19.4	16.7	5.6	0.0	
従業員数	1～49人	20	95.0	70.0	45.0	40.0	35.0	30.0	40.0	10.0	35.0	20.0	35.0	15.0	20.0	15.0	5.0	0.0
	50～99人	9	100.0	66.7	44.4	66.7	33.3	55.6	22.2	11.1	44.4	22.2	55.6	22.2	11.1	22.2	0.0	0.0
	100～299人	5	100.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	300～499人	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	500人以上	2	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	0.0	0.0

生物多様性保全と費用の関係

【問 3】 生物多様性の保全への取組を実施する際の貴組織の考え方として、当てはまるものはどれですか？

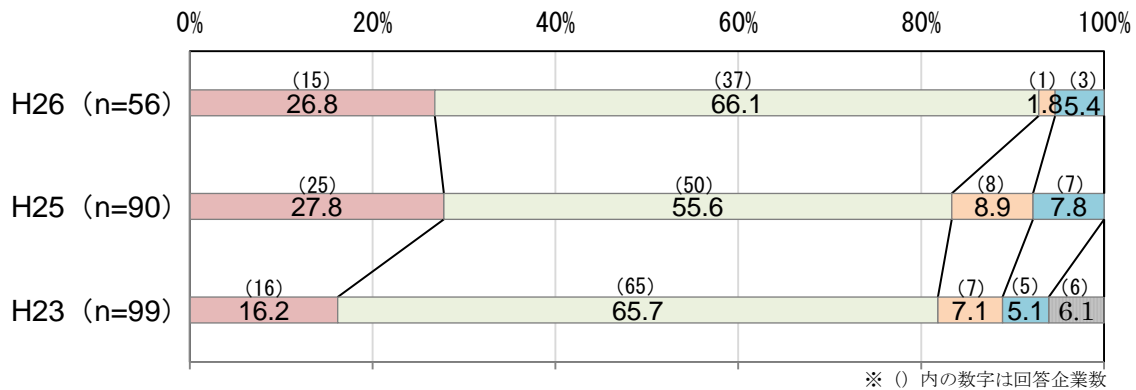
生物多様性の保全への取組を実施する際の考え方として、「生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない」が 66.1%



N = 56

○過去のアンケート結果(平成 23、25 年度)との比較

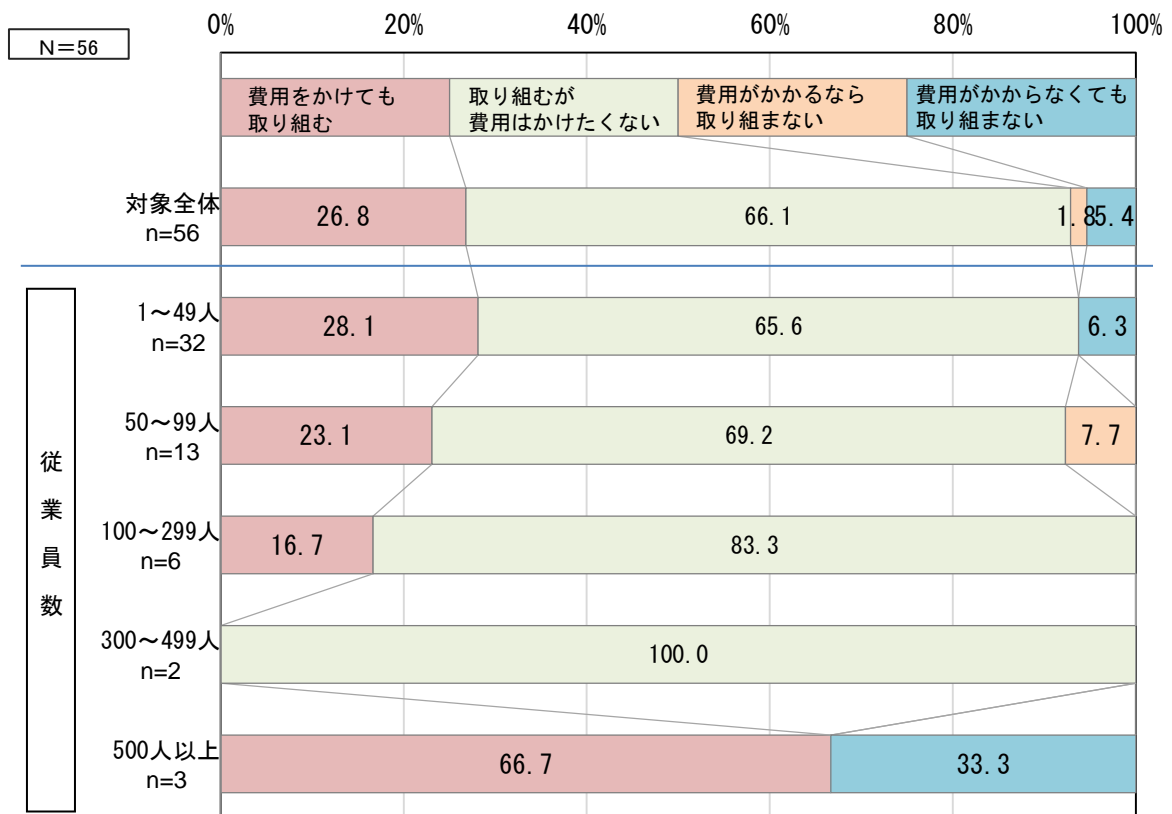
生物多様性の保全への取組を行う意思のある企業(「費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う」+「生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない」)の割合は増加傾向にあるが、できるだけ費用をかけたくない企業の割合は依然として高い。



- 費用がある程度かかっても、生物多様性の保全への取組を行う
- 生物多様性の保全への取組は行うが、できるだけ費用はかけたくない
- 費用がかかるのであれば、生物多様性の保全への取組は行わない
- 費用がかからなくても、生物多様性の保全への取組は行わない
- 無回答者数

○従業員数別の結果

従業員数 500 人以上の企業では、生物多様性の保全を費用をかけて行うべき取組として考えている企業の割合が他と比較して高い。



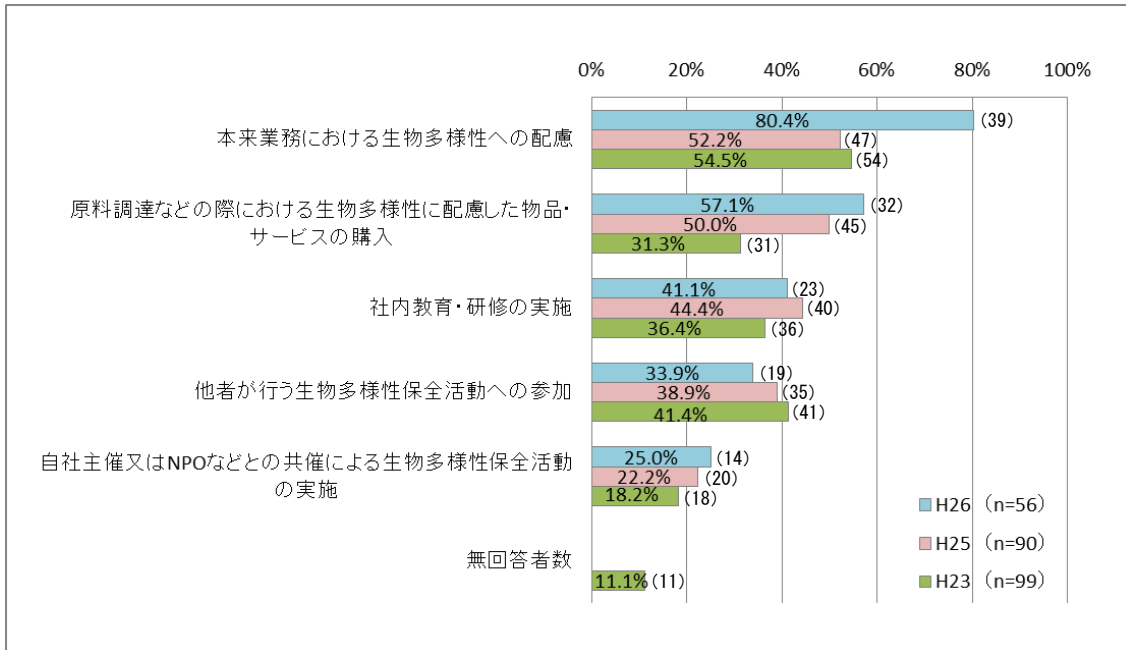
これから実施したいと考えている生物多様性保全の取組

【問 4】 生物多様性の保全への取組として、貴組織がこれから行いたいと考えているものをすべて選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

これから実施したいと考えている生物多様性の保全への取組として、「本来業務における生物多様性への配慮」が 80.4%

○これまでのアンケート結果(平成 23、25 年度)との比較

「本来業務における生物多様性への配慮」、「原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入」及び「自社主催又は NPO などとの共催による生物多様性保全活動の実施」の 3 項目が増加傾向にある。



※ () 内の数字は回答企業数

○従業員数別の結果

従業員数 500 人未満の企業は「本来業務における生物多様性への配慮」の割合が高いのに対し、500 人以上の企業では「社内教育・研修の実施」の割合が高い傾向にある。

	対象数	多様性本来業務への配慮における生物	原料調達などの際における生物多様性に配慮した物品・サービスの購入	社内教育・研修の実施	他者が行う生物多様性保全活動への参加	自社主催又はNPOなどとの共催による生物多様性保全活動の実施	無回答者数	
札幌市内 対象全体	56	80.4	57.1	41.1	33.9	25.0	0.0	
従業員数	1~49人	32	81.3	59.4	37.5	31.3	25.0	0.0
	50~99人	13	69.2	46.2	46.2	46.2	30.8	0.0
	100~299人	6	100.0	83.3	16.7	16.7	0.0	0.0
	300~499人	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	500人以上	3	66.7	66.7	100.0	66.7	66.7	0.0

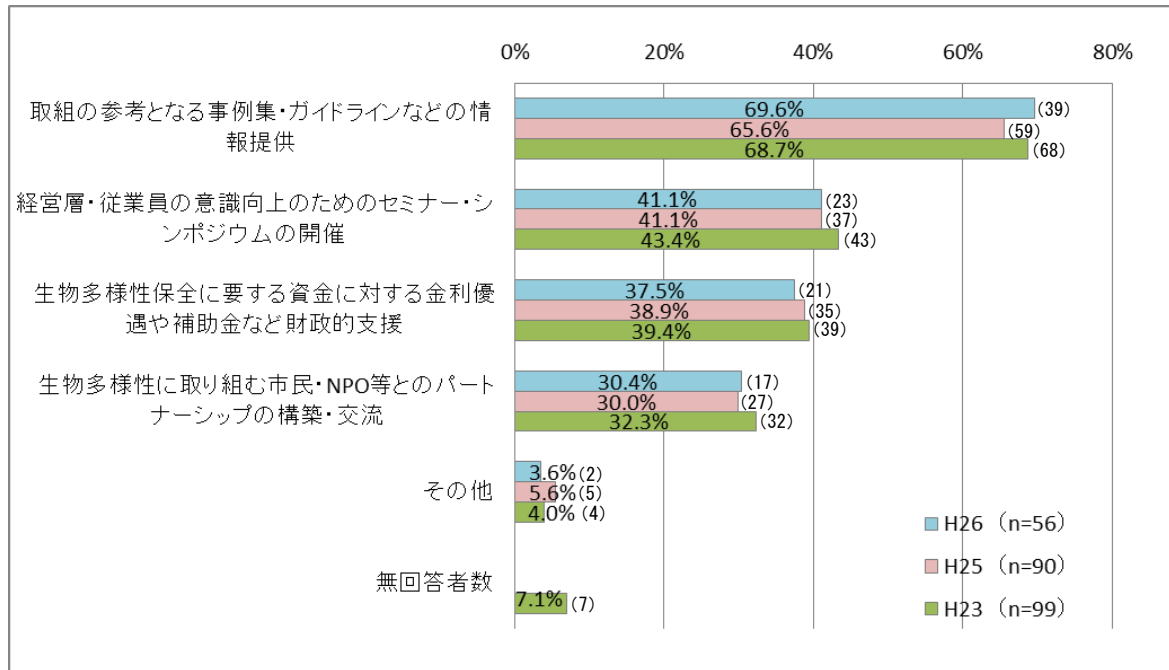
生物多様性保全の取組に必要な支援

【問 5】 今後、貴組織が生物多様性の保全への取組を進めていくための支援として、何が必要だと考えますか。当てはまるものすべてを選んで選択肢の番号にチェックを付けて下さい。

生物多様性の保全への取組に必要な支援として、「取組の参考となる事例集・ガイドラインなどの情報提供」が 69.6%

○過去のアンケート結果(平成 23、25 年度)との比較

各企業が必要であると思う支援内容に変化は見られなかった。



※ () 内の数字は回答企業数

○従業員数別の結果

従業員数 500 人未満の企業で「取組の参考となる事例集・ガイドラインなどの情報提供」の割合が特に高い。

	対象数	情報集取 報・組 提ガの 供イ参 ド考 ライ ン な事 例 の	ン上 ポの ジ ウ め ム の 開 催 シ 向	補資生 助金物 金に多 な対様 どす性 財る保 政金全 的利に 支優要 援遇す や	ナ民生 ー・物 シN多 ツP様 プO性 の等 構と 築の ・パ 交組 流む ト市	その他	無回答者数	
札幌市内 対象全体	56	69.6	41.1	37.5	30.4	3.6	0.0	
従業員数	1~49人	32	75.0	31.3	40.6	28.1	3.1	0.0
	50~99人	13	61.5	69.2	30.8	46.2	0.0	0.0
	100~299人	6	66.7	50.0	50.0	16.7	0.0	0.0
	300~499人	2	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	500人以上	3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0